



終戦記念日に超党派による宣伝（8月15日・JR蒲田駅東口）

日本共産党 大田区議団 ニュース

日本共産党大田区議団

大田区蒲田5-13-14
TEL 03-5744-1477
FAX 03-3730-3447

E-mail
kugidan@jcp-ota.jp

ご意見・ご要望を
お寄せください。

羽田空港増便のための新飛行 経路案計画の撤回を

国土交通省は、
2020年の東
京オリンピック
・パラリンピッ
クへの対応や



羽田空港問題で区長要請する大田区議団（右端は対応する幸田副区長）

しかし7月28日、国
交省で「首都圏空港機
能強化の具体化に向け
た協議会」（以下、協

「国際競争力の強化」
を理由に、羽田空港の
離着陸コースを変更し、
発着回数を現行毎時80
回から90回に拡大する
計画を打ち出し、「飛行
機が都心部で高度2
00〜300mを飛び、
騒音が拡大する」「離
発着便数の増で安全が
不安」と関係住民から
反対の声が上がっていま
した。

計画の見直しを 党区議団が申し入れ

さらに党区議団は、
8月16日松原区長に、
羽田空港の地元である
大田区として、①区民
はまだ合意していな
いことを明確に伝える
こと。②「環境影響等
に配慮した方策」を含
め、丁寧な説明を求め、
区民の理解が得られな
い場合は見直しを求め
ること―を申し入れま
した。

対峙した幸田副区長

は、「協議会の中身は
重く受け止めるが、大
田区は離発着の場であ
り、A滑走路左旋回や
ゴーアラウンドなど他
の22区とは違い、国に
強く主張していく」と
述べました。

党区議団は、区議
会が空港撤去決議をあげ
た歴史的経過などを指
摘し、区民の命と暮ら
しを守る立場で国と対
決するよう求めました。

新年度予算要望に向け 区内団体と懇談会

党区議団は、201
7年度予算編成作業が
進められているなか、
8月9日から、区内団
体のみなさん（福祉関
係者、教育、子育て、
医療、建設、商工業者
労働組合など）と、率
直な意見や要望を聞く

懇談会を行っています。
党区議団は、本会議
や委員会、予算組み
替えの提案をしてきま
したが、ため込んだ1
000億円以上の基金
を、区民優先に使うな
ら、大田区は住みやす
い街になりますと説明

議会）が開催され「関
係自治体が合意」と大
きく報道されました。
これを受け8月9日、
国交省要請が行われ、
党区議団も参加しまし
た。参加者から「各区
も住民も合意していな
い」などの声が上が
りました。

また、担当者は「丁
寧な説明」を行うと繰
り返し述べながら、各
区が求めている教室型
の説明会を開かない姿
勢に終始しました。



あらお大介
こども文教委員
カシノバランビョウ
Tel.3757-9881



福井りょうじ
総務財政委員
防炎安全対策特別委員
Tel.5754-3028



金子悦子
健康福祉委員
防炎安全対策特別委員
Tel.5711-0350



藤原幸雄
地域産業委員
羽田空港対策特別委員
Tel.3742-2936



黒沼良光
地域産業委員
カシノバランビョウ
Tel.3735-6467



佐藤 伸
こども文教委員
防炎安全対策特別委員
Tel.3298-6362



すがや郁恵
都市整備委員
交通臨海部活性化特別委員
Tel.3768-5844



清水菊美
健康福祉委員
羽田空港対策特別委員
Tel.3766-2630



大竹辰治
総務財政委員
交通臨海部活性化特別委員
Tel.3735-2611

区政どへらしの
相談はお気軽に

圧倒的世論で核兵器なくそう 原水爆禁止世界大会



してきました。
みなさんからは、「大田区にこんな基金があるなら、保育園待機児解消や特別養護老人ホーム、区営住宅をつくる、後継者支援助成や家賃補助、介護支援などに予算増額してもらいたい」など多くの要望が出されています。

「核兵器のない平和で公正な世界のために」をテーマに原水爆禁止2016年世界大会ー広島が4日から6日まで開かれました。今回の大会は、ヒバクシャ国際署名で核兵器固執勢力を世論の力で追い詰める最重要の取り組みとして、最終日に採択した「広島からのよびかけ」(決議)は、「国連作業部会が国連総会

大田区議会第2回定例会が、6月9日から20日まで開かれました。日本共産党区議団から、藤原幸雄議員が代表質問、あらお大介議員・大竹辰治議員が一般質問を行いました。

ものづくり技術集積は公共財 産として支援を 藤原区議



藤原区議は、これまで区長は、憲法や安保健制について「動向を見守る」としてきた。区長の姿勢として平和憲法を守り、区民の命と暮らしを守る立場に立つべき。

開発支援事業の申請数が、昨年の倍以上と聞いている。申請数にふさわしい補正予算を。さらに、中小企業で働く勤労者が使用できる(旧)勤労福祉会館のような施設をつくるべきと求めました。

次に、区民の暮らしを守るため消費税を廃止し、消費税に頼らないようにすべき。中小企業問題については、大田区の中小企業は、宝であり公共財産として守るため、国や都の支援をすべき。また、新製品・新技術

介護保険の充実・きめ細やかな障がい者支援を あらお区議

あらお区議は、今年度からスタートした



「新総合事業」について、要支援者を強引な移行ではなく、現行サービスを2018年以降も継続させること

また、新総合事業の要支援外しを形にした要介護高齢者へ紙おむつを支給する事業の廃止の撤回を。

「新空港線」より子育て安心 の大田区へ 大竹区議



大竹区議は、新空港線「蒲蒲線」について、前答申から16年にもなるが、依然として整備・営業主体が確立していない、見通しのない路線に多額の税金を投入する計画は、廃止・撤回すべきと求めました。

次に、子育て安心の大田区へ抜本的対策で、995人の保護者が育

止の撤回を。さらに、区として国に対して介護報酬引き上げを求めること。独自施策として介護職員の家賃補助、宿舍借り上げ制度の創設を求めました。

次に、高次脳機能障がい者の理解を広めるための周知活動と実態把握を強化し、個々の障がいに対応した訓練施設の充実と整備を求めました。

休の延長等となり、今後の対策からも調査を行うべき。また、認可保育所不承諾の児童1884人を待機児として認可保育所の増設を。さらに、3歳の転園への不安対策にも応えるよう増設を行うべき。

保活の支援のため、認可・認可外保育所管理の一元化を求めました。児童改正法を受け、児童相談所の移管に向け都との早急な体制整備を行うべきと求めました。

区議会日程(案)

9月	7日(水)	請願・陳情
	14日(水)	定例会(第1日)
		代表質問・清水議員
		請願・陳情
		2次締切
	15日(木)	定例会(第2日)
		一般質問・黒沼議員
	16日(金)	常任委員会
	21日(水)	常任委員会
	26日(月)	特別委員会
	28日(水)	定例会(第3日)
	29日(木)	常任委員会
	30日(金)	決算特別委員会 総括質疑・金子議員
10月	3~6日(月~木)	決算特別委員会
	11日(水)	決算特別委員会
	13日(金)	定例会(最終日)
		*議会への傍聴に お越しく下さい。
		*請願・陳情を お寄せください。

法律相談のご案内

区議団顧問弁護士による、法律相談です。お気軽にご利用ください。
9月15日(木) 午後1時より
10月6日(木) 午後1時より
場所 日本共産党大田区議団控室
(大田区役所10階) ☎5744-1477
◎予約制です。お早めにお電話ください。